

価値創造の歩み

近年、SDGs^{※1}やESG^{※2}の考えを経営に取り込むことが重要とされていますが、当行は創業以来、地域に深く根ざし、地域の持続可能性に真剣に向き合い続けています。本業においても、地域貢献活動においても、長い時間をかけてSDGsやESGの考えと同じ理念の下で事業に取り組んでいます。

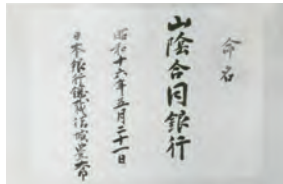
こうしたビジネスモデルは、当行の特徴である安定した財務基盤と厚い自己資本により成り立っていると いえます。今後も過去から受け継いだ自己資本を活用し、経営の健全性の確保と成長に向けた投資、株主還元のバランスを図りつつ、未来への蓄えとして引き継いでいくことで、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

※1 Sustainable Development Goalsの略。2015年9月の総会決議で国連加盟国が採択した、2030年までに達成を目指す17の持続可能な開発目標と、これを達成するための169のターゲットのこと。

※2 環境Environment、社会Social、ガバナンスGovernanceの頭文字をとったもの。企業の中長期的な成長のためには、環境・社会に配慮し、ガバナンスを高度化していく経営を実践することが必要であるという考え方。

山陰合同銀行の軌跡

赤:経営に関する出来事 青:本業における活動 緑:地域貢献活動



山陰合同銀行命名書

- 1941年**
- それまでの合併による島根県側での結集であった松江銀行と、鳥取県側での結集であった米子銀行が合併し、山陰合同銀行設立
 - 石州銀行・矢上銀行を買収合併

- 1945年**
- 山陰貯蓄銀行を買収、62代理店を開設

- 1953年**
- 本店新築



新築直後の日本店ビル

- 1962年**
- 初の両県外店舗、大阪支店開設
- 1964年**
- 広島支店開設
- 1965年**
- 東京支店開設
- 1969年**
- 岡山支店開設

- 1981年**
- 「ごうぎん一粒の麦の会」発足

- 1987年**
- 東京証券取引所市場第一部に株式上場



1990年11月、ふそう銀行と合併覚書締結

店舗ネットワークの拡大

1991年4月1日、当行と鳥取市に本店を置く第二地方銀行である「ふそう銀行」が合併し、新たな「山陰合同銀行」としてスタートしました。ふそう銀行との合併により、当行の合理化・効率化は飛躍的に進み、現在の当行の大きな特徴の一つである、山陰、山陽、兵庫・大阪にまたがる広域な店舗ネットワークを得ることができました。

- 1878年**
- 当行の最も古い源流である津和野第五十三国立銀行設立
- 以降、40もの銀行を源流とする

1800~

- 1868年
 - 明治維新
- 1929年
 - 世界恐慌発生

1940~

- 1941年
 - 太平洋戦争勃発

1960~

- 1964年
 - オリンピック東京大会開幕
- 1973年
 - 東京外国為替市場、変動相場制へ移行

1980~

- 1985年
 - G5、為替市場への協調介入 (プラザ合意)

社会・経済情勢

地域・ お客様とともに 成長・発展

リレーションシップバンキングへのこだわり

当行は「地域を何とかしなければならない」という強い思いを常に持ち、地域経済活性化や地域の発展に継続して取り組んできました。

特に、地域の中小企業のお取引先に元気になっていただくことで、雇用や資金の循環を生み出し、地域全体が活力溢れるものになるという考えの下、事業支援活動に長年注力してきました。

2003年の「リレーションシップバンキングの機能強化計画」で明文化して以降、当行ではリレーションシップバンキングを普遍的なビジネスモデルと位置付けて取り組みを続け、ビジネスマッチングの有償化や現在の「付加価値向上運動」へと至っています。

1991年

- ・ ふうそう銀行と合併
- ・ 創立50周年

1992年

- ・ ごうぎん(鳥取・島根)文化振興財団設立

1993年

- ・ バドミントン部創部

1997年

- ・ 「小さな親切」運動山陰本部設立
- ・ 商号を山陰合同銀行に変更、新CI導入
- ・ 本店を現在地に新築移転



2003年

- ・ みちのく銀行、肥後銀行との三行基幹システム共同化によるシステム稼働
- ・ 「リレーションシップバンキングの機能強化計画」策定

2006年

- ・ 森林保全活動開始
- ・ ごうぎんDuoカード取扱開始

2007年

- ・ ビジネスマッチング有償化開始
- ・ 知的障がい者雇用事業所「ごうぎんチャレンジドまつえ」開設



2012年

- ・ 兵庫・大阪に新たに店舗出店開始、ネットワーク拡大
- ・ 私塾「尚風館」開校

2015年

- ・ 1人1社運動開始

2016年

- ・ 創立75周年

2017年

- ・ 障がい者雇用事業所「ごうぎんチャレンジドとっとり」開設

2018年

- ・ ごうぎん構造改革プロジェクト開始、抜本的なコスト削減を進める
- ・ 付加価値向上運動開始
- ・ SAN-IN・イノベーション・プログラム開始

ユニークな地域貢献活動の展開

当行は、社会福祉・教育・文化等への社会貢献活動を通じて、地域社会に対する責任を果たすよう努めてきました。

2000年代に入ると、加速度を増す外部環境の変化を的確にとらえ、よりお客様の目線に立ち、真に地域・お客様のお役に立つことが必要という考えの下、各種の施策に取り組みました。

地域貢献活動においても、同じ考えにより、「森林保全活動」「ごうぎんチャレンジド」「尚風館」といった、他社に先駆けた、ユニークな活動を展開してきました。

(予定事項)

2020年

- ・ 次期基幹系システムとして「地銀共同センター」の利用開始

2030年

- ・ SDGsの目標達成

2041年

- ・ 創立100周年

1990~

1991年

- ・ バブル崩壊で大型景気にかげり、地価下落

1995年

- ・ 阪神・淡路大震災発生

1997年

- ・ アジア通貨危機発生

2000~

2008年

- ・ リーマン・ブラザーズ破綻、リーマンショック発生

2010~

2011年

- ・ 東日本大震災発生

2016年

- ・ 日本銀行が初のマイナス金利を導入

2020~

2030年

- ・ SDGsの目標達成期限